

第 85 回岩手メーデー

春闘の成果を地場・中小に波及させよう

岩手県の全会場で利用促進ビラを配布

(岩手地本)

2014年5月1日 第85回メーデーが岩手県盛岡市内丸の岩公園で開きました。

労働者の祭典、第85回メーデーは5月1日、岩手県内各地で開かれ、連合岩手（豊巻皓也会長）は盛岡市内丸の岩手公園で中央集会を開きました。



今春闘は本県でも久々にベースアップを回答する企業も出るなど「薄日」が差す中、労働者保護ルールの改悪反対や震災復興推進など多様な課題に向けて団結を強めました。約3000人（主催者発表）が参加した中央集会では来賓として、達増知事、弓岩手労働局長、谷藤盛岡市長、階衆院議員（岩手一区）等が出席しました。

実行委員長の豊巻連合岩手会長は「月例賃金にこだわる春闘の成果を地場・中小労組へ波及させ、非正規労働者の処遇改善、社会的安全網の強化などの課題に取り組む」と決意を述べました。

震災復興や、春闘への総力結集などを誓う「メーデー宣言」に続き、安倍政権の進める「労働者保護ルール改悪に断固反対する特別決議」を採択し、最後に「団結ガンバロー」を三唱し、連帯感を強めました。

集会は同市の他、10の地区で開かれました。

全自交岩手地本は、10年来継続して行っている全自交岩手地本加盟組織のタクシー利用促進のチラシ配布行動を今年も行いました。

3600枚のチラシを平和環境各地方労センターの協力も得ながら、全県のメーデー会場で参加者や会場周辺的一般市民に配布し、タクシーそ利用促進を訴えました。